

一匹でも多くの動物を幸せに



アニマルレスキューとスキル

発行日 10月1日
行第 三 中 学 校
出 年 淵 心 青

新聞

はじめに私は「アニマルレスキュー」として体験講座でお話を聞いたりネット上で調べたりしました。なぜ「アニマルレスキュー」にしたのかはとも動物に興味があったのでこの新聞を書きました。まわりの「アニマルレスキュー」とはなんのことなのか。

アニマルレスキューとは

みなさんは「アニマルレスキュー」と聞いてなにを思い浮かべますか。私は動物を助ける活動のことだと思います。アニマルレスキューとは、ペットや動物たちの命を助けたりする活動（あり）で、人（動物）だけでなく、社会も救助を行うべきだという考えに基づいた社会動物救助活動です。

猫・犬とのふれ合い

下の写真を見て下さい。とても愛らしい写真です。体験講座では猫が2匹、犬が1匹来ました。いっしょに遊んだり、モフモフして気持ち良かったし、人なつこくてふれ合う時間かとても楽しかったです。またふれ合いたいです。

猫とふれ合うことができたこと、可愛かったです!!



ふれ合中の写真↓



動物が捨てられたり殺処分されたりするのは、原因は人間です。人間が動物を不幸にしてあげてしまっているのです。例えば、もう飼えない、捨て子になっても探さない、たまたま動物の子を産んだら多すぎて世話ができない、捨てるなど、どれも人間がしているのです。そのせいでたまたま産んでしまったり世話できなくて殺処分されてしまいます。

なにも悪くない猫や犬が捨てられてしまっているのだから、助けたい、かわいそう、

とても可愛らしい猫が何匹も捨てられてしまっているのだから、助けたい、かわいそう、

とても可愛らしい猫が何匹も捨てられてしまっているのだから、助けたい、かわいそう、

上の写真を見て分かる通り一匹の猫がたくさんの人間に囲まれています。このことから私は一匹の命を大切にしたい、と考えるようになりました。殺処分や病気が原因で環境からおさらばすることをなくしたいです。また人間のせいでおきる動物虐待や捨てられたり、ほたらかしにされたりする動物を救う、自分でできるだけのことをいろいろ工夫して、さいと思いをしました。そして私も見ているだけでもなごうしたくなる、を書きとめて、読んでくださる、少しでも動物を幸せにしてあげたいです。

町中で捨て猫を見つけたときに 行うこと (例) ~6コママンガ~

4 あれ? 中になにがある

5 捨て猫? どうしよう

6 子供の場面 周りの人に言う (助けを求める) 大人の場面 110番が保護所に連絡

3 ボール

この世界から不幸な動物をなくそう!!

捨られた理由

- ・もう飼えない
- ・迷子になっても探さない(ほ、とく)
- ・子を産んで育てられなからといって捨てる

みなさんは動物が好きですか。私は家では飼っていませんが、ペットショップや友人の家で見たことがあります。とても可愛いらしく大好きです。特に猫がお気に入りです。でもこの世界には不幸な動物がたくさんいます。なぜなら殺処分された人間の子供や、まわりの「アニマルレスキュー」体験講座の先生が行くと犬や猫が嫌いな人が、猫を不幸にしているのはなく、犬や猫を好きな人が不幸にしているのではないかとされています。私もその意見を聞いて納得しました。なぜなら、嫌いな人はあまり近寄らず、好きな人は自ら動物に近寄り、おきたら捨てたりしていると思ったりです。

このことからペットがほしい、飼いたいのなら、きちんと責任を持ち、最後まで世話をしてほしいです。中途半端な気持ちで飼ってしまったら、その後のいらいらなく捨てられてしまうことがあります。

グラフを見て下さい。殺処分の数が10年間で23万人→2万に減っています。10年間のあいだで21万匹に減りました。

このグラフを見ても、10年間で減っていくのがわかりました。

グラフを見て下さい。殺処分の数が10年間で23万人→2万に減っています。10年間のあいだで21万匹に減りました。

グラフを見て下さい。殺処分の数が10年間で23万人→2万に減っています。10年間のあいだで21万匹に減りました。

グラフを見て下さい。殺処分の数が10年間で23万人→2万に減っています。10年間のあいだで21万匹に減りました。

?クイズ?

人間の利害に基づいて動物を殺すことをなんというでしょう?!

答え

100kg動物たちの命を助けようとする活動をなんというでしょう?!

答え

私はこの学習を通して、さまざまなことがわかってきました。私の新聞の読者で「アニマルレスキュー」にいらして、たくさん知って、よかった、と書いてくれたり、動物を大切にしよう、と書いてくれたり、私自身も大人になると、飼育が難しいから、お金を付けたい、と思ったり。

お世話になられた方々

島根動物愛護センター 17-7
西原 範正 さん

資料2	数の変化
猫	1186万1千匹
犬	961万2千匹
計	2147万2千匹
	↓10年後
猫	710万6千匹
犬	894万6千匹
計	1605万2千匹

資料3	殺処分
	約21万匹
	↓10年後
	2万 3764匹

友達にインタビュー

多くの動物が捨てられたり殺処分されることを考えたらどう思いますか??

友達: とても悲しいと思います。もうこんなことがないように人々がいきいてほしいです。

自分: ひどいと思います。捨てられないようにこれから工夫していききたいです。